

工業高校生約40人を対象に現場見学会を開催

当社は、2024年4月23日に、JV 総社市新庁舎作業所(岡山県総社市)において、工業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。今回の見学会には、岡山県立東岡山工業高等学校(岡山市中区)の設備システム科3年生37名が参加、「想い」を築く仕事への理解を深めていました。

見学会場となった総社市新庁舎作業所では、現庁舎を利用しながら同じ敷地内に新庁舎を建設しています。庁舎棟は大地震後でも迅速に業務が再開可能となるように免震構造を、議会棟は大地震に十分耐え得る耐震構造を採用し、両棟ともに鉄筋コンクリート造となっています。参加者は、鉄筋・型枠・コンクリート工事などの躯体工事の施工状況や、地下階の免震装置などを、真剣な眼差しで見学し、建設現場の息遣いを間近で感じていました。



見学前に建物の特長や工事の進捗状況を紹介



地下階の免震層を見学

参加者からは、現場監督の働き方や施工管理の仕事などについて、様々な質問がありました。

参加者からの質問(抜粋)

- ・高いところが苦手だが、現場監督になることができますか。
- ・仮設足場はどのくらいの期間、設置していますか。
- ・強風が吹いたとき、現場はどうなりますか。

大本組は、大学・高等学校等の教育機関と連携した講義、インターンシップや現場見学会の開催などを通じて、将来の建設業を担う人材の育成に積極的に取り組んでまいります。また、引き続き、建設業の仕事内容やその意義、魅力等についての情報発信も行ってまいります。